

1. 活動状況

団体名	社団法人北海道建築士会 函館支部
対象事業	子どもの住教育やまちづくり教育
事業名	第1回青年地域貢献事業 ～建築士とのふれあい工作教室～
事業目的	将来の地域社会を共に構成していく子供たちに、建築的原体験を感じてもらう
実施期間	平成17年11月12日(土)
実施活動内容	<p>直接子供達とふれあい伝えゆく我々の知識と技術に関わるプランニング能力と木工技術を余すことなく活用し次世代へと続き街をかたちづくる意識と経験を残すことを目的とし、小学6年生を対象として木製ベンチのプランニングや木製ベンチの製作を行う。</p> <p>これからの将来を担っていく子供達にとって初めての体験でもあり、事業を開始当初はとまどいを隠せない様子だったが、作業を進めていく中で建築の工程作業の一部を体験したことにより、建築士会会員と交流し建築のプランニングする楽しさや木工技術による作業を踏まえ、建築士会の存在意義をアピールできた。</p>
今後の課題 将来計画等	来年度以降についても同じ時期に継続する予定。

# 出来上がりに満足

道建築士会函館支部「工作教室」

## 上湯川小6年がベンチ作り

道建築士会函館支部  
(山内一男支部長)は12日、函館上湯川小学校(佐藤篤正校長)で児童を対象とした「建築士とのふ

れあい工作教室」を開いた。同校の6年生40人が参加。建築士のアドバイスを受けながら、オリジナルのベンチ作りに取り組んだ。

同支部で展開する地域貢献活動の一環で、建築士の仕事や物づくりの楽しさを知ってもらうのが目的。小学生対象に初めて開催する。

会員20人は、建て物の構造などを映像で分かりやすく説明。10グループに分かれ、ベンチを置きたい場所などを考えさせ、場所に合ったベンチの形をアドバイスした。

児童たちは初めて扱う、のこぎりやドライバ―に戸惑いながらも手際よくベンチ10基を完成。出来上がりに満足そうな

表情を見せていた。

参加した野村彩華さん(12)は「道具の扱い方や材料の寸法をそろえるのが難しかったが、上手にできた。花壇の前に設

置るので、座って花とおしゃべりを楽しんでもほしい」と話していた。完成したベンチは、同校に設置する予定。同支部では「要請があれば、ほかの小学校でも行いたい」と話している。  
(笠原郁実)





